

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2020年12月1日 207号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



贈呈セレモニー



町の広場



サッカー
クラブ



競技場



バジェ・プクで奉仕活動

小川の岸边を清掃



全員で記念撮影

青年たちがクリーンキャンペーンを継承

去る11月8日、アスンシオン近郊にある、アレグア(Aregua)市の、バジェ・プク(Valle Pukú)地区において、パラグアイの青年たちが奉仕活動を行いました。例年、日本からパラグアイに青年奉仕隊を派遣し、さまざまな地域で奉仕活動を行ってきましたが、今年はコロナ禍により日本からの派遣はできませんでした。そのため、今回はパラグアイの女性連合とカープ(学生団体)と協力して奉仕活動を行いました。

奉仕活動の地は、以前から交流を持ってきたスサナ・バルア(Dra. Susana Barúa)さんを通して紹介してもらいました。スサナさんは、アナウンサーから農牧省の役人となった人で、レダにおけるパクー稚魚の放流式にも何度か来てくれました。現在は、ファーストレディーの奉仕活動にも携わっているそうです。

今回の奉仕地は、スサナさんが援助してきたコミュニティがある場所で、マスク(1000枚)と手洗いきット(20個)、ゴミ箱(70個)を寄贈し、清掃活動をし、お菓子も配りました。皆さん喜び感謝してくれました。歴代青年奉仕隊によるクリーンキャンペーンはしっかりと継続できました。とりわけパラグアイの団体と緊密に協力して奉仕活動ができたことは、新たな前進です。ご支援くださった皆様に心から感謝いたします。

準備と実行に尽力した佐野道准氏の報告

午前8時の現地集合の予定だったが、あいにくの小雨となり、オープニングセレモニーの場所を急遽変更。皆がどうにか入れる大きな小屋に集まった。小屋といっても壁はなく、資材を保管しておくような場所。急遽そこを皆で整理して集会が出来るようにした。カープからは20名ほど、女性連合から数名、現地の人たちが10名ぐらい、そしてスサナさんが子供とスタッフを連れて参加したので総勢数十名となった。コロナ禍にあって、あまり大人数での集会はできないので、各グループとも大きな動員を控えた。

結局9時過ぎにオープニングセレモニーを始めた。司会はグスタボ・ジュリアーノさん。最初にコミュニケーション会長パブロ・アグイレ(Pablo Aguirre)氏の挨拶。そしてスサナ・バルアさんの挨拶。(次面につづく)



女性連合のRosi会長とスタッフの挨拶。



Hernandez会長の挨拶。



佐野道准氏の挨拶。



Pablo Aguirre会長夫妻の挨拶。

バジェ・プク



調理前のパカー。開いて焼いて、この日の昼食に。



料理のパカーは、スサナさん(中央)が援助する村で養殖した。



バジェ・プクの一部。



空いた時間にギターを弾き、一緒に歌う青年たち。



カープ提供のお菓子が大好評。

(一面よりつづく) 次に、私(佐野)が南北米福地開発財団(EDSN)の紹介と今回の経緯を説明し、寄贈品の目録、奉仕活動のプログラムなどを紹介した。

その後、女性連合会長のロシー(Rosi D.I.)さんが女性連合を紹介。そして最後にカープのホル・エルナンデス(Joel Hernandez)会長がカープを紹介し、青年活動について話した。その際に青年たちが元気のいい歌を皆の前で披露した。

10時過ぎ、相変わらず小雨が降り続いていた。そこで、私のトラックに手洗いキットと大型のゴミ箱を積み、カープのメンバー数人が同行して、学校、サッカークラブ2か所、町の広場にそれぞれ手洗いキットと大型のゴミ箱を寄贈して回った。

11時になってようやく雨が上がったので、カープの青年たちが、クリーンキャンペーンの一環として、予定してあった小川の岸辺の清掃に行った。

青年たちは12時半にアグイレ会長宅に帰ってきて、現地の方々が準備してくれたパカーの焼き魚を食べた。ここではスサナさんの指導でパカーの養殖をしており、これまでに三つの養殖池が造られている。

その後、カープが準備したお菓子(パン生地甘い飴状のクリームをまぶして焼き上げたもの)を全員にふるまった。またそのお菓子を箱に詰めて近所に配布し、とても喜ばれた。

今回は雨が降って、予定の行動が制限されてしまったが、空いた時間に青年たちはギターを弾き、歌を歌い続けていた。時間の無駄を全く感じさせなく、また雰囲気もとても盛り上がりつつあったように思う。

現地の人たちは、もちろんとても感謝していたし、全体が非常に和気あいあいとして、とても良い雰囲気だった。カープの青年たちは久しぶりの遠出とあって、彼ら自身の心も復興していたように思う。

スサナさんも、本人が力を投入しているコミュニティに私たちが協力して更に盛り上げたので、とても喜んでおられた。この方には私たちの理念と活動をさらに案内していきたいと思う。恵まれない場所を色々と全力で援助している彼女の姿には頭が下がるし、その心情は本当に素晴らしいと思う。



約10か月間レダで活動した竹内君(前・中)を歓送。10月19日



第2農場のタロイモ田に、田芋の苗476株を定植。11月10日



泥に足を取られないよう。右端は川久保君。11月10日



岩澤所長、豊村氏も参加。図師氏を中心に手際よく実行。11月10日



パクーの成長を促すため、別の池に移す作業。10月24日



パクーを数える川久保君と容器に入れる滝川君。10月24日



竹内君にちなみノブと命名。10月31日



竹内君が日本へと出発。11月4日



エネルギーに餌を食うパクー。

土地本来の森を取り戻す植樹計画

去る9月27日（日）、東京都八王子市裏高尾町の旧甲州街道沿い、小仏峠の近くの山斜面において、「高尾小仏植樹祭2020」が開催されました。主催は、NPO国際ふるさと森づくり協会（レナフオ）、共催として中日本高速道路株式会社。参加者178名が、888平方メートルの斜面に38種類3868本の苗木を、植生工学士たちの案内により、手際よく植え付けました。混植・密植の官協方式です。



移植ゴテで小穴を掘って苗木を植える。



マルチ材の稲わらを水平方向に敷く。

す。分かることは、そのような山を放置しておいても、土地本来の森の姿が自然に回復することはないということです。人の手が必要なのです。

高尾山域という緑のとても豊かな山域の一角で、何故このような植樹活動が行われるのでしょうか？その理由は1968年（昭和43年）に開通した中央道の建設工事以来の宿題とも言えるもの。小仏トンネル工事の残土を盛った場所に、高尾山域本来の植生と異なる植生域が生じました。その植物の中には外来種も多く含まれ、半世紀以上経った現在、自然林でも人工林でも里山でもない、ヤブ山の様相を呈しています。動物相においても、詳細は分かりませんが、影響を受けていることが考えられます。

シモバシラ

検索

この冬、天然の造形、氷華を見に行こう

ここでシモバシラとは、ある植物の名です。冬になっても根が生きていて水を吸い上げます。その水が、枯れた茎のひびからジワジワと染み出し、凍てつくことで美しい氷華を咲かせます。

東京都では、高尾山のモミジ台北面の山道で見つけやすいです。



見つけやすいです。氷華は気温が上昇すると崩れます。ぜひ早起きして見に行ってください。



抑えの稲縄をピンと張って作業終了。

今回の植樹祭では、カシ類、タブノキ、ヤブツバキ、シロダモ等の常緑広葉樹、ナラ類、ケヤキ、ヤマザクラ、イロハモミジ等の落葉広葉樹、他の中低木も含め、多種の苗木を混植しました。いずれも高尾山ではおなじみの樹種です。この植樹祭に参加した、NPO地球の緑を守る会の会員の話です。「植樹対象の山は、あらかじめ草木を除去して更地にしてありました。その斜面に各班が皆で楽しく苗木を植えたのですが、苗木を植える小穴を掘ろうとして移植ゴテを地面に突き立てようとする、ガキツと瓦礫にぶつかって、掘るのに少々骨が折れました。」隣接地にはヤブ山がまだ多く残っており、植樹計画はずっと続くそうです。また植樹祭だけでなく、不要な草を抜く育樹祭も併せて開催されています。お子様と共に参加してみられてはいかがでしょうか。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット（印刷済み）、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。

パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>

レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>